

## 平成 30 年度 第 1 回浦安市文化財審議会議事録（議事要旨）

- 1 **開催日時** 平成 30 年 5 月 16 日（水） 午前 10 時～11 時 30 分
- 2 **開催場所** 郷土博物館 視聴覚室
- 3 **出席者**  
（委員）菊池委員長、大塚副委員長、吉田委員、明保委員、潁原委員、大村委員  
※森田委員は欠席  
（事務局）鈴木教育長、八田生涯学習部長、高梨生涯学習部次長、五十嵐館長、島村、尾上（記）  
（傍聴人）なし

### 4 議 事

- (1) 平成 29 年度 浦安市文化財審議会の報告について
- (2) 平成 30 年度 浦安市文化財審議会の年間計画について
- (3) 平成 29 年度 郷土博物館・文化財住宅の利用状況報告について
- (4) 平成 30 年度 郷土博物館の年間計画について
- (5) 伊能忠敬没後 200 年記念「伊能大図複製パネル」特別展示及び新収蔵品展「測量をめぐる浦安の偉人宇田川徳太郎～ロシアとの国境線をつくった男～」の開催結果報告
- (6) 新規刊行物について

### 5 会議経過

会議に先立ち、人事異動に伴う職員紹介を行った。開会后、菊池委員長、鈴木教育長があいさつを行った。

#### (1) 平成 29 年度 浦安市文化財審議会の報告について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
質疑については、特になし。

#### (2) 平成 30 年度 浦安市文化財審議会の年間計画について

配布資料に基づき、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

（委員長） 第 3 回目の会議で、旧醍醐家茶室の調査報告とあるが。

（事務局） 昨年度、旧醍醐家の部材調査を行った。その調査報告をはじめ、これまでの経過を説明したい。

#### (3) 平成 29 年度 郷土博物館・文化財住宅の利用状況報告について

配布資料をもとに、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 文化財住宅の入館者数だが、平成 28 年度、奥まったところにある旧大塚家住宅が 8,641 人、旧宇田川家住宅が 8,069 人と 600 人近い数の差があるが、イベントなどの影響だろうか。平成 29 年度はほぼ同数になっている。
- (委員) 冬場は餅つきなどもやっていた。
- (事務局) うらやす財団に要因などを確認したい。
- (委員長) 文化財住宅の入館者数はわかるが、イベントなどはわからない。行った実績が表に出ることはないのか。うらやす財団からは報告が出ていると思うが。実績がわかるような工夫がほしい。
- (事務局) 次年度の資料は、実績がわかるよう工夫できたら、と思う。
- (委員) 旧大塚家、旧宇田川家はうらやす財団が管理運営をしているとのことだが、博物館との関係はどのようなものか。旧医院は生涯学習部の持ち物を社会福祉協議会に運営を委託している。
- (事務局) 旧大塚家、旧宇田川家については、(公財)うらやす財団に指定管理で管理をお願いしている。文化財ということで、博物館が窓口となっている。
- (委員) 旧医院に平日、市外からの街歩きの方が結構来られる。運営形態が違うので仕方がないが、見せることができなくてもったいないなあ、との感想を持っている。
- (委員長) 旧医院の扱いについては、文化財審議会というよりも教育委員会全体で考えるべきものだと思う。
- (委員) 建物は使わないと、どんどん悪くなっていく。旧医院も、今どうにかしないといけない、と感じる。
- (委員) 博学連携について、大学の方でも連携したいと考えている。「ふるさと浦安作品展」は小中学校対象であるが、いずれは高校や大学まで公募の枠を広げることができたら、よりよいものになると思う。以前、旧大塚家での実測調査の実習をしたとき、大塚家をお借りして、学生の作品を展示したことがある。
- (委員) 鉄鋼団地の展示会に協力した学生のうち、浦安出身者がいて、「小中学生のときは博物館で勉強していました」と、過去形であった。高校、大学、社会人と、一連の流れができたらよい。
- (委員長) 新たな提言をいただいた。検討していただければ、と思う。

#### (4) 平成 30 年度 郷土博物館の年間計画について

配布資料をもとに、事務局より説明した。  
主な質疑・応答については、下記のとおり。

- (委員) 広報うらやすに、県民の日のイベント、鉄を使ったものが掲載されていたが、以前行った鉄鋼団地の方とのつながりで行っているものか。
- (事務局) 今回も鉄鋼団地の方にご相談して、午後、スプーンづくりを行ってもらったことになった。

(5) 伊能忠敬没後 200 年記念「伊能大図複製パネル」特別展示及び新収蔵品展「測量をめぐる浦安の偉人宇田川徳太郎～ロシアとの国境線をつくった男～」の開催結果報告

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

(委員長) 新聞各社がこれだけ報道してくれたのは、企画展でははじめてではないか。毎回企画展のときに掲載されるかどうか気にしているが、よく取り上げられる博物館がある一方、なぜ浦安の博物館を取り上げてくれないだろう、とずっと思っていた。

(委員) 博物館ホームページで企画展関係のイベントを探してみたが、博物館のページからはたどりつけず、昨年7月以降、更新もされていなかった。市の広報のホームページ「浦安市のイベント」のところに掲載されていたのをやっと見つけることができた。4月8日の展示解説では、年配者が多く、紙媒体の広報などを見ていたと思うが、若い人たちはホームページを見ている。こまめな更新をお願いしたい。

(委員) 大学の講座で300人以上集まったことがあった。広報の媒体はホームページとフェイスブックであった。ホームページよりもフェイスブックの方が楽だと思う。宣伝効果は大きい。

(6) 新規刊行物について

配布資料をもとに、事務局より説明した。

主な質疑・応答については、下記のとおり。

(委員) 浦安の漁業の歴史をこのような刊行物に残すことで、歴史の厚みが全然違ってくる。今後ともがんばっていただきたい。

(委員長) 東京湾の漁業について、ここまで調査して作っているところはほかはない。海苔などに特化しているところはあるが、浦安のように全体を見通しているところは全国でもほとんどないと思う。がんばってほしい。

■ 次回の会議

第2回浦安市文化財審議会は、7月18日(水)を予定。

委嘱状の交付があるので、出席をお願いしたい。

以上をもって、平成30年度第1回浦安市文化財審議会は、閉会した。